

2017.11.22(水) 18:00 - 第2回 H28 商法

(前回のH28民法 設問2 小問(2)から)

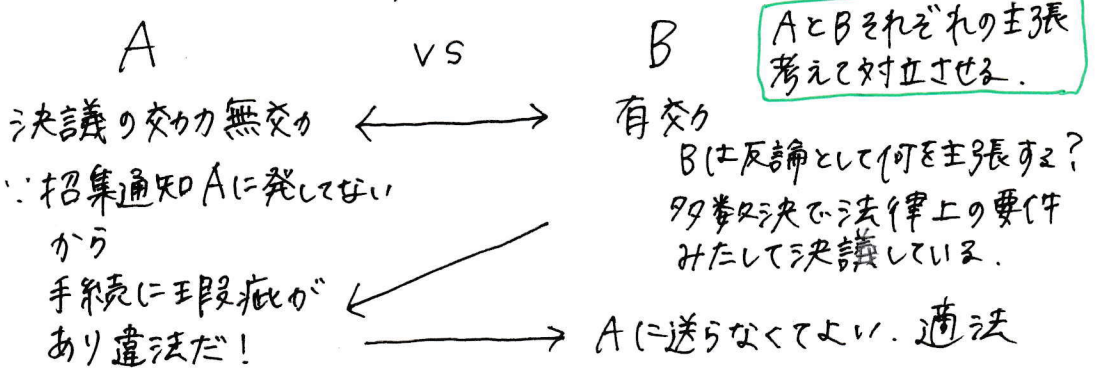
- ・問題提起の際、「法解釈」「適用場面」どちらが問題となるのか明らかにする。
- ・誰が誰に何をを明確にする。
- ・判例を使う際「判例は〜」と明言する。
- ・不当利得返還請求 ← 発生根拠事実とは？ 抗弁は？ 明らかにする。
- ・理由の説得力が大事。
- ・場合分けをして比較する場合、抽象的な言葉で「まあせず、
しっかりそれぞれの場合について検証する。
- ・「当事者の合理的意図解釈」 ← どう考えるのが自然かを書く

(H28 商法)

- ・日頃から論理的思考を！「なぜ？」と思い、考える。
- ・IPO…上場のこと
新規株式公開（一部
二部）

0 問題提起について (問題のみつけ方)

★問題の所在…論点・争点・意見がくいちがう。



争点を明らかにして、大玉な争点から掘り下げていく。